

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名		スポーツ政策の戦略的立案基盤の強化		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度		平成22年度		担当課室	スポーツ・青少年企画課スポーツ政策企画室		スポーツ政策企画室長 平山 直子		
会計区分		一般会計		施策名	XI-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		-		関係する計画、通知等	スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定) スポーツ振興基本計画(平成12年9月13日策定、平成18年9月21日改定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		海外や地域・現場などにおけるスポーツ振興施策の最近の状況を適切に踏まえた、効果的・効率的かつ戦略的なスポーツ政策の企画立案に資するため、海外や地域・現場におけるスポーツ施策・行政体制・予算等に関するデータの整備や、政策や社会の要請に応える理論的・実証的研究など、我が国のスポーツ政策の企画立案の基盤を強化するための調査研究を実施。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)		民間団体に委託し、諸外国や国内におけるスポーツ振興施策に関し、既存データのブラッシュアップや再分析を行うとともに、現地調査・ヒアリングや質問紙による実態調査・文献調査その他適切な方法を通じてデータを収集・整理・分析し、報告書を作成する。							
実施方法		<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		予算の状況	当初予算	-	-	21	19	13	
			補正予算	-	-	0	0		
			繰越し等	-	-	▲14	14		
		計		-	-	7	33	13	
		執行額		-	-	1			
執行率(%)		-	-	14.3%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
		海外や地域・現場のスポーツ振興施策等について現状を把握することを目的としており、成果指標を定量的に示すことは困難。		成果実績					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
		海外や地域・現場のスポーツ振興施策等について現状を把握することを目的としており、活動指標を定量的に示すことは困難。		活動実績 (当初見込み)				()	()
単位当たりコスト		-		算出根拠		-			
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金		1百万円	0.5百万円	委託単価の減等				
	委員等旅費		1百万円	0.5百万円					
	庁費		2百万円	1百万円					
	スポーツ振興事業委託費		15百万円	11百万円					
	計		19百万円	13百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	－	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>執行額が少額となっている要因は、当該事業の委託契約について、一般競争(総合評価落札方式)による調達を実施したことにより、当初予算と比較して契約金額が減ったこと及び3月に発生した東日本大震災の影響により、年度内での委託事業の完了が困難となったことに伴う委託費の翌年度への予算の繰越しがあったことである。</p> <p>今後については、効果的・効率的かつ戦略的なスポーツ政策の企画立案に資する成果物を得るため、平成23年度に繰り越した予算を適切に執行すべきである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、海外や地域・現場におけるスポーツ施策・行政体制・予算等に関するデータの整備や、政策や社会の要請に応える理論的・実証的研究など、我が国のスポーツ政策の企画立案の基盤を強化するための調査研究事業であり、予算執行の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：この事業は、平成22年度において予算に多くの不用が生じており、予算と実績との差異の要因等を十分精査しつつ、引き続き予算の見直しを図るべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>予算と実績との差異の主な要因として、開催予定としていた有識者会議の未開催や委託単価の減額が挙げられる。当該事業の平成22年度の執行実績を踏まえ、有識者会議の開催回数等や1件あたりの調査研究委託の積算単価を見直し、概算要求に▲8.677百万円反映した。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

A. 文部科学省
1百万円

諸謝金 0. 3百万円
委員等旅費 0. 2百万円
庁費 0. 5百万円
を含む

民間団体へ委託し、海外のスポーツ政策の状況などを調査。委託先へ求める内容を示した仕様書を提示し、委託後は調査研究の進捗状況を管理。

※一般競争入札により委託先として財団法人笹川スポーツ財団を選定し、14百万円で委託契約済みだが、東日本大震災の影響により報告書作成に遅れが生じたため、平成23年度に繰り越した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
庁費	会議費、冊子の印刷等	0.5			
諸謝金	ヒアリング出席委員の謝金	0.3			
委員等旅費	ヒアリング出席委員の旅費	0.2			
計		1.0	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者について
 記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)